

月刊 やちまなこ

2021. 6.15 発行

No.283

6月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

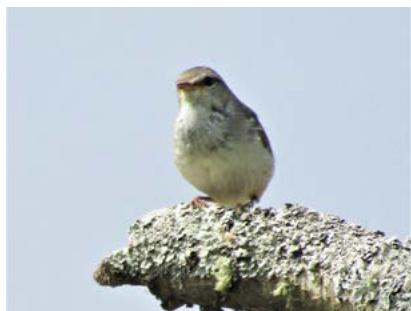
日の出も早くなり、午前4時前には地平線に太陽が顔を出す頃となった。季節の移ろいとともによりキタキツネ、タンチョウ、カウの鳴き声はまるで目覚まし時計よりも早く寝床まで聞こえてくる。朝露に濡れた花も朝陽を受け徐々に輝き始め、中でもカラフトイバラは湿原に初夏の香りを漂わせているようだ。一気に気温が25℃を超えた日にはエゾハルゼミの鳴き声がまるでシャワーを浴びるように賑やかに聞こえてくる。僅か数か月前までは殆ど枯草が広がり、降霜に彩られた湿原とは考えられない目の前に広がる景観の中に無数の新しい命が育まれている。



塘路フィールドノート【5/15～6/14】

【野鳥】

塘路湖畔に夏鳥たちが勢ぞろいしました。新緑の季節を迎えて野鳥の姿は捉えづらくなりましたが、湖畔に響く夏鳥たちの鳴き声はまだまだ健在です。さらに、湖畔では巣立ったばかりのヒナの姿も見られるようになってきました。



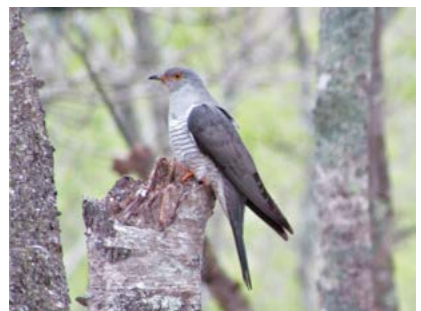
ウグイス（塘路湖畔）

なぜか今年は大人しめ。「ホーホケキョ」の音が控えめだと、何か物足りない気がします



オオジシギ（シラルトロ湖畔）

茂みから姿を現したところ。5月中はディスプレイ飛行の独特な音が賑やかでした



カッコウ（蝶の森）

木立の間に姿が見えました。「カッコー」の音が聞こえてくると、初夏の訪れを感じます



コサメビタキ（塘路湖畔）

細く複雑な声で一生懸命さえずっていました。今年はセンター周辺でよく見かけます



コヨシキリ（塘路湖畔）

ヨシ原でさえずる声がよく聞こえてきます。この時は珍しく枝先でさえずっていました



センダイムシクイ（塘路湖畔）

「チヨチヨビー」の音が湖畔に響き渡っています。今の時期、鳴き声が最も目立つ鳥

【植物】

塘路湖畔で初夏の花が次々に咲き始めました。白い花が多く咲く初夏、湖畔は緑の草原と白い花の優しい色彩に包まれます。やがて主役は白い花からカラフルな花へと移り、湖畔は夏らしい華やかな風景へと変わっていきます。



オオバナノエンレイソウ（フイトナドの森）
春の終盤に咲く代表的な花。純白の花弁と緑の葉のコントラストに目を奪われます



コンロンソウ（塘路湖畔）
水辺や森の中など多様な環境で見られます。個体数も多く、今の時期非常に目立ちます



フタマタイチゲ（塘路湖畔）
湖岸沿いでたくさん咲きました。今年はここ数年では一番の当たり年かもしれません



エゾスカシユリ（塘路湖畔）
昨年より一週間ほど早く開花しました。初夏の塘路湖畔で抜群の存在感を放っています



シコタンキンポウゲ（塘路湖畔）
初夏に咲く黄色い花の代表格。丸みを帯びた艶やかな花弁が柔らかな印象を与えます



エゾノタチツボスミレ（塘路湖畔）
湖畔の半日蔭のような場所に咲いています。スミレの中では背丈も高く見つけやすい花

◎存在感ある木の地味な花

初夏の塘路湖畔では樹木に咲く花が多く見られます。白い花を枝いっぱいにつけるエゾノコリンゴや、ふんわりとした綿のような花を咲かせるナナカマドがその代表格ですが、新緑の葉の陰でイタヤカエデ・オニグルミ・ミズナラなどの湖畔を代表する樹木もひっそりと花を咲かせています。個体数も多く、抜群の存在感を放つこれら3種の樹木ですが、花はかなり地味。色とりどりの花が咲き始め、つい足元に視線が行ってしまいがちな今の季節、うっかりすると咲いていることに気づかずに花期が終わってしまうなんてこともあるぐらいです。



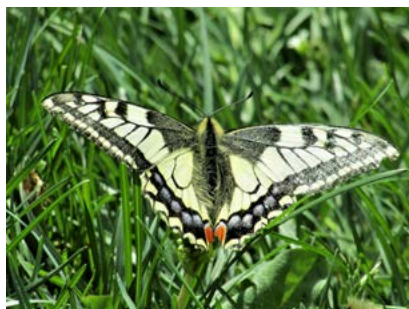
イタヤカエデ



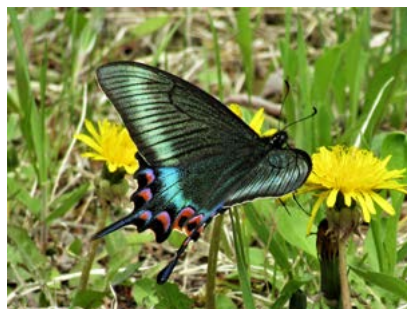
オニグルミ（雄花）

【昆虫】

初夏を迎え、塘路湖畔ではエゾハルゼミが鳴き始めるなど、昆虫たちの動きが活発になってきています。今年は昨年に比べてチョウの仲間が多く見られ、晴れた日には色とりどりのチョウが湖畔を飛び交う様子が見られます。



キアゲハ（元村キャンプ場）
昨年は少なかった印象ですが、今年はよく見えます。緑の草原に淡黄色の翅がよく映えます



ミヤマカラスアゲハ（塘路湖畔）
初夏の湖畔で最も目立つチョウ。ちょうど翅を広げて鮮やかな色彩を見せてくれました



ミヤマセセリ（塘路湖畔）
センター前の湖岸で遭遇。一見地味ですが、艶のある翅の色彩は意外に味わい深いです

【お知らせ】センターの臨時休館について

緊急事態宣言の発令を受け、センターは6月20日（日）まで臨時休館となっています。

通常開館の再開時期は、現時点では未定です。詳細につきましては、下記のリンクおよび当センターのSNSなどをご確認いただけますようお願いいたします。

<http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/>
(釧路湿原国立公園連絡協議会ホームページ)

【報告】「新緑の湿原 野鳥観察会」は中止に…

6月5日（土）に予定されていた「新緑の湿原 野鳥観察会」は、新型コロナウイルス感染拡

大防止のため、中止とさせていただきます。

【お知らせ】今後の自然ふれあい行事について

7月以降の自然ふれあい行事についても、その時々感染状況によっては中止となることが考えられます。開催の可否につきましては、当センターへお問い合わせいただくか、左記のホームページやSNSなどでご確認ください。



7月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

縄文土器作り講座

【日 時】 7月3日（土）10時～14時

【定 員・参加料】 10名 350円（材料費）

【開催場所】 塘路湖エコミュージアムセンターレクチャールーム

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

夏の樹木と花を見に行こう

【日 時】 7月4日（日）10時～12時

【定 員・参加料】 10名 無料

【開催場所】 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンター
(0154-65-2323) まで

ホタルの週末

【日 時】 7月16日（金）～18日（日）

18時30分～21時

【定 員・参加料】 20名 無料

【開催場所】 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで

◆日出・日入時間 5/15(3:59,18:39). 5/31(3:46,18:54). 6/14(3:42,19:03)

～編集後記～

■初夏の彩りとなった釧路湿原は、野鳥の鳴き声が早朝から聞こえるようになりました。例年は観光客で賑わう時期ですが、今年も新型コロナ感染対策のため、センターも今月20日までは臨時休館となっていますが、感染状況によっては延長の可能性もありますので、関係施設も含め、環境省釧路自然環境事務所のHPで確認をお願いします。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

Instagram  torokoemc

開館時間: 10:00～17:00

(11～3月: 16:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料